

D・田舎☆サマーフェス2024



子どもよさこいソーラン

発行
浮田地区コミュニティ会議
電話&FAX
0198-42-1681

タイトル画説明



わ太鼓満月組



浮田神楽

一か月以上咲き続ける合歓(ネム)の花のアップ。たわわに実ったヤマウコギの実。今夏は遅咲きのナツズイセン。涼しげなギボウシ(ホスタ)。
絵・文(実)



肥田葉子さん



東和三弦会



**8月10日 総勢300人が集い
浮田のアツイ夏祭りが
開催されました**

「ペレニアルロックガーデン に行ったよ!!」



6月14日快晴のもと、岩手山が間近に見えるペレニアルロックガーデンに行ってきました。参加者は18名で、女性に人気の研修で、男性はうち6名でした。ペレニアルとは宿根、多年草と呼ばれ、何年も楽しめる植物のことです。ナチュラルな雰囲気を楽しめ、高低差のある所に植

栽すると、変化のある庭になるとのお話でした。

ただ庭を管理されている方のお話では、草取りと、岩に苔が生えるので手入れが大変なこと、人気の山野草は盗掘に遭うので、植栽してはいけないことでした。

花、植物には和名、学名があるとの説明後は、グループで散策をしている人、岩手山を背景に写真に収まっている人、各々楽しんでいました。

昼食は、ガーデン併設のcafeミルクの里で岩手山を眺めながら、名物牛タンカレーを美味しくいただきました。



あなたも是非、訪れてはいかがですか!
(辰)

「夏の八幡平 トレッキング」



八幡平のトレッキングコースを7月11日に12名の参加で散策してきました。

出発地点の八幡平山頂レストハウスは、あいにくの小雨でしたが、雨具を着用して頂上を目指しました。

岩手県環境マイスターの似内功孝氏を先頭に高山植物であるキヌガサソウやイワイチョウなど見ながら一時間ほどで頂上へ到着。

八幡沼を眺めながら昼食をとっていると、山小屋の

方から賑やかな声が聞こえてきました。水沢の幼稚園児と父兄さんご一行の団体でした。ちびっ子たちは元気一杯です。

雨も上がり、八幡沼の周りを廻る湿原地帯の景色を眺めながら、無事に出発地に降りてきました。多少の登り下りがありますが、のんびり散策出来るので、おすすめの場所です。
(賢)



「夏季ゴルフ大会」



6月22日、浮田の丘(旧浮田保育園庭)でゴルフ大会が開催され、31名が楽しく汗をかきました。優勝者はホールインワンを2回も出した八重樫静子さん!上位入賞者は次のとおりです。(多)

順位	氏名	スコア
優勝	八重樫 静子(中内)	58
準優勝	釣木澤 俊孝(石宮)	60
第3位	菊池 隆耕(毒沢)	61
第4位	小菅 勵(毒沢)	62
第5位	小田島 英雄(下浮田)	65
第6位	伊藤 建夫(上浮田)	66

(3R24H)

JA花巻 組合員表彰受賞 おめでとう!!おめでとうございます



小田島節夫さん(上浮田)は、長年にわたり花巻農協の果樹部会役員を歴任され、りんご選果基準設定委員長、又、花巻農協の果樹技術者育成顧問として営農にも携わり、これらの功績が認められ、5月29日JA花巻通常総代会において、組合員表彰を受賞しました。

そこで節夫さんにインタビューし、「紅いわて」についてお聞きしました。

「当時にりんごと言えば江刺が有名で、花巻にはこれ

と言える品種がなかった。そんな時、岩手オリジナル品種『紅いわて』が開発された。色つきが良く10月に出荷出来る点に着目し、花巻の部会で栽培計画に取組み、県内トップ、46%の産地化に成功した。これが高価格販売につながり、他品種にも力を入れるようになり、賢治りんごとして取引されている」

これからの目標は？

「私は好奇心が強いので、軽労化、樹形のコンパクト化、『乗用、ロボット草刈機』の導入、電気柵の設置。収入保険にも加入しており、今後も情報交換しながら、90歳現役を目指して、太極拳で筋力維持に励んでいきます」とのことでした。

(辰)

ハンギング バスケット講座



6月11日、花き生産者の日下浩子氏(上浮田)に教わりながら、ハンギングバスケット作りを楽しみました。参加した6名の方々は、花が好きで日頃から植栽している経験豊かな皆さんでしたが、上手く育てられなかった経験もあるようで、その解決策を尋ねたり、情報を共有し合ったりと、参加者同士の交流も図られました。また、ハンギングバスケットの仕上りに満足する声や「次は寄せ植えをやってみよう」と今後に期待する声も聞かれました。

(多)

リレー エッセー

爺のクラウン・ ゴルフの 出雲い

平成22年9月の浮田小学校閉校後の活用を地域民の交流と健康増進の為GGの推進と決まり、参加し競技の愉しみに嵌まり、平成25年4月東和グラウンド・ゴルフ協会に入会。仲間に恵まれ感謝しています。

GGは「エチケット・マナー」の深い理念から始まり、人間として大切とする「自分からルールを守る心構え」の精神を常に保ち、明るく笑顔で元気にプレーすることを教わっている。

GGの醍醐味を感じながらも、何と奥深い生涯スポーツだと認識し、楽しみには、無理しない、迷惑掛けない、不快感を与えない、体調・安全面に留意、物忘れに注意、仲間を思いやる心をしている。

また、仲間の人生観を拝聴し学びもあり、私の生活に大きな糧となっている。

(毒沢 小菅 勵)

ゆるゆると カントリーヘッジ (羊の生垣)

合歓の花が咲き始めたのは6月末、梅雨が明け猛暑の8月に入っても咲き続けているこの夏。雪の少ない冬だったし、雨の降らない春だった。春先は暑く寒暖差が大きかった。と「いつもの季節」はなくなつた。

それでも梅雨に入れば、胡桃の樹皮は剥きやすくなり、染色のために枝を伐つては皮を剥き刻む。合歓の花咲く涼やかな木陰での作業は、ほのかな香りに包まれる。

梅雨の合間の曇りの日、クロアゲハが蛾みたいの木葉に翅を広げていた。緑にクロアゲハの翅が美しく映え、濡れ翅を乾かしているのだとふと気づいた。

7月末になつても梅雨は明けず、雨の合間を縫うようにクロアゲハが合歓の花を次々と訪れた。気がつけば10を数えるクロアゲハが合歓の花を賑わす。合歓の花が見せてくれた：幻想的な淡い夢のようなひととき。

(山本 実紀)

御朱印帳づくり

夏の陽射しがギンギン刺す様な日々ですが、心の安らぎ、神社、仏閣を歩く、などでもいいものです。

7月30日浮田振興センターにて地域おこし協力隊、赤津有美さんの指導で「御朱印帳」づくりをおこないました。材料は成島和紙を使用。作り方の手順を聞き、作り始めました。



和紙を折り合わせて「ノリ付け」。ポイントは裏表交互にツルツル、ガサガサ、紙質を活かして貼り合わせること！色染めされた表を



貼り合わせ、乾かすと出来上がり!!ホッと一息つく…。

作った方は手作りの御朱印帳を持って、近くの神社仏閣をはじめ、県内外を参拝し御朱印を集めたいそうです。

蝉の声も耳に入らない位の真剣な時間でした。赤津先生ありがとうございました。(二三)



事務局だより「遊報」

○今年度煙突倶楽部へ、コミュニティ会議から備品の補助として、ラジコン草刈り機を導入しました。45度の傾斜まで刈る事ができます。



旧小学校や旧保育園のり面などで活躍しそうです。

○災害時の防災用品整備として、公民館へ電気が止まってもご飯が炊けるように、ガス炊飯器を希望により設置しました。今年度は、中内、太田目、下浮田の各公民館です。

○また、公民館より座敷用いすの補助申請を受け備品補助として実施しました。



○不法投棄防止対策として、地域内にカメラ付き看板を4か所に配置しました。

編集後記

結いの里編集員による研修「安倍貞任(あべのさだとう)の軌跡を辿る」を実施しました。

講師には毒沢の平野保さんをお願いし、事務局には運転手としてご苦労をお掛けいたしました。

古代末期の東北を代表する武将である安倍貞任。一説には背丈は1m80cmを越え、力士並みの体格で逞しく、顔立ちもよく堂々としていたとのこと。その一方

○今年度の「芸農まつり」の開催を見送ることに実行委員会で決定しました。理由としては①旧保育園の取り壊しが秋ごろから始まる見込みであること②10月から11月は各種行事が毎週のように行われ、開催を予定していた10月27日は消防演習大会が行われるため。

○市政懇談会が開催されます。開催日は11月8日(金)18時より振興センター研修室で行われます。皆さん奮ってご参加ください。(輝)

で、色白の肥満体であったとする伝え話も…。安倍一族の旧跡は東和町内に数多くあり、「安倍貞任隠れ岩(田瀬)」、朝敵源頼義に関連する「鏑八幡神社」などを巡りました。30年前に放送された大河ドラマ『炎立つ』を思い出しました。(浩)



編集委員長

千田 浩志 (毒沢)

編集長

山本 実紀 (毒沢)

編集委員

山口 友恵 (宮田)

千葉 三恵 (中内)

多田 辰雄 (上浮田)

小田島賢志 (下浮田)

渡辺 郁美 (中内)

竹田美由紀 (宮田)

題字

千葉 稔 (下浮田)

事務局

藤井 輝雄 (中内)

小田島多賀子 (下浮田)